



もくじ

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------|
| 01 活動報告 | 05 「母と娘」 |
| 02 読書会で力をもらって「アダム・スミスの夕食を作ったのは誰か？」 | 07 カウンセリングに協力いただけませんか? (無料) |
| 03 ホームヘルパー国賠訴訟の控訴審に向けて | 09 ひとことメッセージ |
| | 12 編集後記 |

活動報告

- | | | |
|-----------|--|----------|
| 11月1日(月) | ホームヘルパー国賠訴訟東京地裁不当判決&報告集会 | 約 50 人参加 |
| 11月4(金) | 会計 | |
| 11月13日(日) | 性と自分を話す会 | ZOOM 4人 |
| 11月16日(水) | ZOOM 読書会 第5回 アダムスミスの夕食を作ったのは誰か | 9人 |
| 11月20日(日) | 第1回 対話の土壌をかもすワークショップ | 7人 |
| 11月22(土) | 厚生労働省・財務省交渉・介護現場を守る対政府交渉実行委員会 | 約 30 人 |
| 12月2日(金) | 会計 | |
| 12月6日(火) | 会計 | |
| 12月11日(日) | Webinar「組合によるエンパワーメント インド SEWA (自営女性協会) の運動から学ぶ」 | 78 名参加 |
| 12月15日(木) | ZOOM 読書会 第6回 アダムスミスの夕食を作ったのは誰か | 8人 |
| 12月18日(日) | 第2回 対話の土壌をかもすワークショップ | 6人 |
| 12月22日(木) | ホットライン振り返り | 7人 |
| 12月30日(金) | 手仕事の会 | 5人 事務所 |
- 毎月 5, 10, 15, 20, 25, 30 日はたらく女性の全国ホットライン



小グループ

読書会で力をもらって

「アダム・スミスの夕食を作ったのは誰か？」

波多野律子

読書会の仲間にしてもらってから、「フェミニズム理論～周縁から中心へ」ベル・フックス著
や「日本のポストフェミニズム」菊池夏野著、「99%のためのフェミニズム宣言」ナンシー・フ
レイザー他著、「ケアするのは誰か？～新しい民主主義のかたちへ」J・C・トロント著 岡野八
代訳・著等々…を仲間とともに読んできた。私自身読書は好きだが、一人で読み進むだけでは
到達できない深い気づきを得られるのは、この仲間たちがそれぞれの人生で経験してきたこと
を基に深く思索を掘り下げてきたとびきりの女ばかりだからだ。

現在読み読みすすめているのは、上記の本、「アダム・スミスの夕食を作ったのは誰か？～
これからの経済と女性の話」カトリーン・マルサル著 高橋璃子訳 河出書房新社発行

である。著者はスウェーデン出身で英国在住のジャーナリスト。訳者はラインワール応用科
学大学修士課程修了の翻訳家だ。そして本書の題名で問うている疑問の答えは生涯独身だった
彼の「母親」だということが第1章の段階で明かされる。アダム・スミスの名は経済学を学ば
なかった人にも知られている「経済学の父」であり、我々が食事を手に入れられるのは、肉屋
や酒屋やパン屋の善意のおかげではなく、彼らが自分の利益を考えるからであるとして、「利
益の追求」自由市場こそが効率的な経済の鍵だと説き、現代の経済学を決定づけた。いわゆる
「神の見えざる手」論である。ニュートンが「万有引力」を発見し現代科学の基礎を打ち立て、
人の世界観を書き換えたように「利己心」が人の世界において万有引力と同じ働きをすると広
めた。著者は経済学の見えざる手が見落とした重要なものを明白にたたきつける。それは「性」
だ。女性たちが担ってきたケア労働をはじめとする気遣い・配慮良心・協力・連帯などの人間
らしさのことだ。ジャーナリストとしての着眼点と見識、皮肉の効いた語り口は痛快だ。翻訳
もこなれていて実に小気味良い。

目次を羅列すると、経済と女性の話をしよう／アダム・スミスの食事を作ったのは誰か／ロ
ビンソン・クルーソーは何故経済学のヒーローなのか／女性はどうして男性より収入が低い
のか／経済成長の果実はどこに消えたのか／ウォール街はいつからカジノになったのか／金融市

場は何を悪魔に差し出したのか／経済人とはいったい誰だったのか／金の卵を産むガチョウを殺すのは誰か／ナイチンゲールはなぜお金の問題を語ったか／格差社会はどのように仕組まれてきたか／「自分への投資」は人間を何に変えるのか／個人主義は何を私たちの体から奪ったか／経済人はなぜ「女らしさ」に依存するのか／経済学の神話にどうして女性がでてこないのか／私たちはどうすれば苦しみから解放されるのか／経済人にさようならを言おう…。

現代の苦しみの根本原因は、新自由主義がひとり一人の身体を持つ人間を、「人的資本・個人起業家」として「競争」をあらゆる関係の基礎として打ち立て、それを維持しようとし、政治も市場に都合よく従属させ、人間を企業・機械にした。つまり新自由主義は人間を「人的資本」に変えることで、労働と資本の対立を解決した。労働者は存在せず、搾取される存在でもない。自分が資本だから、自分に投資するのも利益や損失を引き受けるのも自分だ。「自己責任」ということになったことにある。今、私たちは、そして私も「新自由主義」の酷薄さを実感しているが、既にその毒を体内に取り込み生きていることにも気づかされる。社会から取り残されないように「資格取得」に邁進し、ITの知識向上や語学能力の向上にまるで自分の元々の欲望であるかのように挑むようになっていく。でもそこに本当の幸せ、人生の満足感はないかもしれない。あらためて失敗や弱さや愛、感謝、良心、世話、連帯の中に自分を取り戻したいと振り返ることができた。私が仕事としているDV被害者支援についてもより広い視野から深く考える契機となった。読書会の場にありがとうを言いたい。

ホームヘルパー国賠訴訟の控訴審に向けて

伊藤 みどり

日頃、ホームヘルパー国賠訴訟に対して物心両面からのご支援ありがとうございます。2019年11月1日、私たち原告3名は介護崩壊の危機を見逃すことができないと国賠訴訟を提訴しました。ホームヘルパーの人手不足の責任は国にあり、移動、キャンセル、待機時間は労働時間であると通達を出しながら介護報酬単価に勘案されているというだけで労基法違反状態を事業所の責任に転嫁して改善してこなかったのは国の責任である。国が規制権限を行使し

なかったのは違法であると主張して裁判を闘ってきました。

しかし国の代理人の態度は不誠実極まりなく、原告の主張に対する認否すら十分に行いませんでした。裁判所もそれに対して何ら手を打たず、原告本人尋問・証人尋問など必要な証拠調べを行う事すら拒絶するなど不誠実な態度に終始しました。当然の抗議に対しては、裁判所内に警備員を配置するなどしてきました。

そして2022年11月1日、東京地方裁判所709号法廷において、高木勝己裁判長により不当な棄却判決が言い渡されました。事業所に責任があり、国の責任を認めないという内容でした。

私たちは控訴しました。

私たちの提訴によって在宅介護を担うヘルパーの理不尽な賃金や労働条件、在宅介護の質の低下について可視化され、多くのマスコミも報道されるようになり、介護保険にも関心を持つ人の輪が広がり介護保険の史上最悪の改悪にも反対の輪が広がってきました。国を相手に訴えることは、そう簡単ではありません。私たちは次世代に引き継がれないような介護の現実を変えたくて、小さな声でも立ち上がりました。



控訴審第1回は、3月22日13時30分～東京高裁515号法廷です。傍聴大歓迎

原告は、年末年始も訪問介護の仕事をしなが、弁護士と一緒に控訴理由書の作成に取り組んできました。その中で、高齢化社会をよくする女性の会・大阪の1999年発行のホームヘルパーの就労実態調査を入手しました。介護保険成立前から「利用者と労働時間のミスマッチ」で常勤では待機時間が多くなり効率性が悪いと登録パートヘルパーが都合の良い出来高支払いの働き方として増やされたのだとわかりました。当時から今日の労基法違反の働き方が解決できないままに介護保険はスタートしてしまったのです。

ホームヘルパー国賠訴訟のホームページから控訴理由書も読めます。

参考文献：

介護労働・家族労働のいま・未来 『女も男も』NO.140 2022年秋・冬号
特集 介護の社会化を問い直す 『大原社会問題研究所雑誌』771号 2023、1



「母と娘」

ピアグループ KIBI 代表 茂木直子

私の母は、アルツハイマー型認知症である。病名が分かる前からも、おかしな言動や行動はあったが、家族は皆、自分のことに精一杯で、お互いの事に関心を持たないくらい他人であった。しかし母が近所に度々迷惑をかけるようになると、福島の実家で別居していた父も、母の住む東京の家に戻ってくるようになり、病名を伝えられてから今まで、母の介護をめぐっては、人間の本性が分かるくらい様々な苦労があった。

遡ること7年前、川崎市で一人暮らしをしていた私にも、個人的に色々な事があった年だった。会社から解雇されたり、彼氏に先立たれたり、精神的、金銭的にも疲弊し、一時的に東京の実家に助けを求めた時だった。しかしこの実家に助けを求めたことで、認知症の母の介護を私が一人ですることになり、私の体と精神は更に疲弊し、突発的に死のうと思うくらい、追い詰められた状態に至ったのであった。

父や兄との大ゲンカ後、私はまた川崎市で一人暮らしをするようになり、自分を取り戻すことが出来た。父との確執も意図的に忘れるようにし、たまに実家に電話ができるようになった。母は、私が介護をしていた7年前とは違い、今は認知症の末期症状が出ているようだった。食べられなくなり、体重が30Kgも減ったと父から聞き、先日、母の好物を買い、都内にある実家へ行ってみた。夕方に母がデイサービスから帰ってくると、車椅子から母は自力で立てず、父の介助でトイレにやっと移動したが、トイレから自力で出てこられない母に、台所にいた私がトイレに行き、母を前から抱きしめて立たせ、オムツを替えていると、母は私に、「ありがとうございます。お幾らですか。」と小声で聞いた。私はその時、母の認知症がかなり進んでいることを知った。その後ベッドで横になりながらオムツをまた気にする母に、今日はデイサービスで何をしたのか、食事はちゃんと食べたのか等、色々聞くと、母は、私が娘であることに気づいたのか、私の質問に頷いたり、小さい声で「忘れた。」と返事をしてくれるようになった。私は母に、母の好きな「おはぎ」や「たまごサラダ」、農家から買った大根で、煮物を作ってきたからと、ベッドから起きて食べるよう促した。母は自力で起き上がり、家中に設置されている突っ張り棒を掴みながら、居間にあるテーブルに就いた。私が温めた煮物を皿に盛

り、おはぎやたまごサラダのパックを開けると、母はゆっくりと一人で食べだした。夕方だったので、私もお腹は空いてきたが、母の食事介助に徹底し、ちょっとでも母が食べやすいように、小皿に取り分けたり、具を小さくほぐしたりしていた。すると母は、お惣菜の入った皿を私の方に押しつけて、私に食べろと言っているようだった。私は母に食べてもらいたくて、母の好きなものを買ってきたのだからと、「全部食べるよう」伝え、ひきつづきお惣菜の皿を母の方に戻し、母が食事する様子を見ながら、母の口の周りをティッシュで拭いたり、床にこぼれた食べ物を拾ったりしていた。するとまた母は、私の方へ惣菜の皿を押しつけて、また私に食べるよう促してきた。

炊飯器の音が鳴り、やわらかいご飯も炊けたようで、父に、母と一緒に夕飯を食べよう促し、私は両親が揃って夕飯を食べるのを見ながら、そろそろ川崎の自宅に帰ろうとしていた。

帰りに「また来るね」と告げ、実家を後にした。そして、駅に向かって一人歩いている間に、母の症状を想い、母との別れがもうすぐであることを知り、涙が出てきた。辺りはすっかり暗くなっていた。母が、食事の際に、惣菜の皿を私に押しつけて、食べるよう促したことに、言葉を忘れても、子供のことを思う母親の気持ちは忘れていないのだと気づき、自分が母から愛されていたことを知った。駅に着き、電車に乗った後も、しばらく涙が止まらず、なんとも切ない気持ちで川崎の自宅に帰ったのであった。

小グループ活動の 連絡先

運営系小グループ

- 連絡調整office@acw2.org
- 事務・会計Administration@acw2.org
- かもす通信・広報tsushin@acw2.org
- 協同組合(案)検討FY@acw2.org

事務系小グループ

- ホットラインhotline@acw2.org
- 講座など共育Education@acw2.org

会員相互交流グループ

- 読書会bookdiscussion1@acw2.org
 - 性と自分を語る会sexushariti@acw2.org
 - ちまちま手芸の会join@acw2.org
- (他、準備中)

小グループ活動への参加や設立ほか、さまざまなご相談は、
連絡調整グループ→ **office@acw2.org** (佐野)までご連絡ください。

カウンセリングに協力いただけませんか？ (無料)

佐崎和子

「はたらく女性の全国ホットライン」のスタート時から、ホットラインの相談担当をしている福岡の佐崎です。

仕事での相談経験は、ハローワークでの職業相談。現在は労働局の「総合労働相談コーナー」で、労働相談員として6年目です。

労働相談を経験する中で、気持ちがモヤモヤしたり、イライラしたり、不安だったり、不満だったりした時に、気軽に話せるスペースがあれば、ここまで追い詰められなかったかもしれないなと思うことが度々あります。

また、「はたらく女性の全国ホットライン」でも、労働相談というよりは、整理できない気持ちを話される方もいらっしゃいます。

こうした経験を通して、「気軽に話せるスペース」を提供したいと思うようになり、3年程前からナラティブアプローチをベースとした「オンライン講座 カウンセリングトレーニングコース」や「リスニング実践トレーニングコース」で学び続けています。

そして、今回、スーパービジョンを受けながらカウンセリングの実践を積んでいきたいと考えてスタートしたところです。スーパービジョンは、カウンセラーがよりよいカウンセリングが提供できるようになるために、カウンセリングを提供した後に、カウンセラーがスーパーバイザーより指導を受ける仕組みです。

相談内容は、職場や家族の人間関係、不安な気持ち等のようなことでも構いませんが、労働相談のように具体的な問題解決を目的としたものではありません。相談者がご自分の気持ちを言葉にすることで、自分の気持ちや考えを整理したり、新たな視点に気づくことができたり

等の場として提供したいと考えています。

なお、相談員の資格としては、産業カウンセラー、国家資格キャリアコンサルタント、1級キャリアコンサルティング技能士の資格があります。

今回は、個人としての取組みですが、よろしければご協力いただけませんか？

【申込にあたってのお願い】

- ACW2会員の方や会員のお知り合いの方などで、私と個人的なつながりがない方をお願いしたいと考えています。(カウンセリングでは、二重関係(友だち等にカウンセリングを行う)が禁止されているという理由からです。)
- カウンセリングはオンラインで実施いたします。
- カウンセリングの無料提供は原則1回を考えていますが、相談者の状況やカウンセリングのプロセス等から、相談者がカウンセリングの継続を希望され、私が必要と思った場合は3回まで無料で行います。
- なお、カウンセリングを希望される方が医療機関を受診されている場合は、できるだけ事前に主治医の了解を得てお申し込みください。
- スーパービジョンを受けるためにはケース記録及び逐語録の作成をしなければなりません。そのためにカウンセリングの場면을録音させていただきますので、そのことをご了承の上お申し込みください。
- ケース記録及び逐語録の作成にあたっては、個人名は特定されません。また、録音した音源は、スーパービジョン終了後は破棄いたします
- カウンセリングの実施日については、原則こちらで決めさせていただいてよろしいでしょうか？(現在、5月まで予約が入っていますので、6月以降となる可能性が高いです)(至急の相談をご希望の場合は、お申出いただいても構いませんが、ご希望に沿うことができない場合があることをご了承ください。)
- 問い合わせ・申し込み先：**佐崎和子(さざきかずこ) koara1951@gmail.com**

定期大会 | 2023年4月8日(土)開催!

国立オリンピック記念青少年総合センターにて

対面で開催します。久しぶりに直接会って話したいです!



ひとことメッセージ

いつもこの時期思う。確定申告時の、損害賠償料控除のイミわからん計算式、何であるんでしょう。そのまんま、まるごと控除したって、たいして痛くないだろうさ。めんどいですね。 (うま)

障害者枠での就職が困難な状況から脱せずにはため、一念発起して職業訓練校へ入校し、県から訓練手当を貰いながら木造建築を学んでいます。中国から伝来した伝統的な木造建築工法は、わたしを数寄屋造りの建築へと誘ってくれました。ひよんな事からまったく新しい好奇心が湧くのってオモシロイです。 (大工見習い)

「任期付職員には専門性がない」という市長の Twitter を見て暗黙のハラメントだと捉えました。地方都市もこの国もどこへ向かっているのかと益々不安です。 (ゆっきー)

毎日ではないが電車を利用するとき、私は“色”に注目する。身につける物の色は、今の日々の気分を表すと感じるからだ。

年末年始、冬休み休が明けた JR や地下鉄は着ぶくれも相俟って大混雑する。文字通りギュウギュウ詰めで気持ちの余裕もなくなる。そこで、車内から向かい側ホームを見る。人びとが身につけているコートの色に目をやると、黒、黒、黒。濃紺も多い。たまにベージュ。

あっ！、赤のジャンパー、白髪男性が向かい側ホームを歩いている。車内にはワインレッドのコートも。降車駅ではオレンジ色のダウンの若者を見かけた。

赤もオレンジもいい、様々な色に出会うとホッとする。

ちなみに自分のコートの色は、濃紺だった。

色は時代を映すという。だが、誰もが同じ色を強制されないことはもっと大切だ。

(通勤でツブヤキ)

老人ホームに入った母が昨年 11 月に転倒して大腿骨骨折。でも医学が進んでいて、手術して翌日からリハビリして 10 日後に退院。すごい、と思っていたら、10 日後にまた転倒してまた同じ骨を骨折。前回の手術で入れた金属に負けて骨が破片に。今度は長い入院。しかし入院の付き添い、手術後、差し入れ時など、老人ホームにいる時より母の顔を見る機会が増え、骨折に微妙なイベント感が漂う。

しかも入院した病院はオンライン面会が可能。これは便利と早速申し込むも、ディスプレイの中の母はちょう不機嫌で、私が騙されている、この世界は滅亡する（そうかもね）、私たちの会話は世界中の人々に知られてしまうとか言っている。

話を聞いているうちに、この「テレビ電話」がテレビ放送で、全世界にオンエアされていると思っているのではと気づいた。

便利なものに意外な陥穽。まあ、また来週も、オンラインで会いましょう。

(なかばみちこ)

29 年勤めた職場を昨年退職したのを機に、「しごとのあしあと」という原稿を書いて連載配信しています。お正月で 14 回目になりました。しごとのことも、そうでないことも混ぜごはんのように書くのは案外楽しく、いろいろ悩んだことを思い出すと苦しいです。頼まれもしないのに勝手に書くのは日記やブログ以外では初めてです。ご笑覧いただけましたら。登録者 100 人をめざして（そうすると the letter の親サイトに掲載されるらしい）、こういうところがワーカホリックな病です。なおらないので活用するかな、と。いま何をしているかも、これに書いています。試験勉強にも追われ、カチカチ山で頭痛がしています。

「しごとのあしあと」 <https://kazonoyayoi.theletter.jp/>

(小園弥生)

(追伸：今年是一段落して、週 3 日労働で自分生きさせるつもりだったのに、なかなかそうなりそうにないです。病は深いです)



このほど、外国人女性が中心となってユニオンを立ち上げました。

「女性と外国人のための労働組合」と冠していますが、できれば、労働問題だけでなく生活全般、そして日本人からも相談してもらうつもり。でもマンパワーの少なさが悩みの種。具体的な活動はまだまだこれから。ユニオン名は『ローズマリー ユニオン』といいます。ご支援、よろしくお願いいたします。(ロージーおかもと)

障害のある子どもの預け先の確保が難しく、ここ数年仕事ができいていません。いまだに預け先の確保が難しいのは変わらないものの、物価高や賃金が上がらないことで生活が徐々に苦しくなっています。私も賃労働しなくては生活が成り立たないよー。どうすりゃいいんだ…という状態です。防衛費増額のための増税など、聞くだけで具合が悪くなります。(まき)

20年前 2001年から兵庫県赤十字血液センターで臨時職員として働きでセクハラ・パワハラにあいました。2004年でやめました。

それで別の会社Tで2009年にまたパワハラにあいました。先日何気なくをTを検索したら、社長が逮捕されていました。(まこと)

袋を開けて、その袋がそのまま容れものになる、あのタイプのぬか漬セット。始めて3日目です。昨日は、茹でたブロッコリー。この手のは、何回も挫折してますが、今のところ順調です。見切り野菜が、どんどん漬かる。そしてウマウマです。(うま)

メッセージ募集の呼びかけにくださったみなさん、ありがとうございました。ひとことメッセージはいつでも募集しています。みんなに聞いてみたいテーマも。おひとり1つといわず、いくつでもお送りくださると嬉しいです。

宛先▶tsushin@acw2.org

編集後記

■ひとことメッセージ募集の呼びかけに、たくさんの方が応えてくださってとてもうれしいです。私はうんうんと頷いたり、感心したり、意外な展開に笑ったり、ひとり一人の実感がこもった言葉を読んで勇気が出てきました。ないことにされてたまるか！と。そう思ったら、あれれ、涙が出てきたよ。(さのよ)

■「専制主義対民主主義」と社会を定義して軍事力を強化しようとする社会は、ケアレスマンモデルだと思います。育休中のリスキニングという岸田首相の発言がSNSで炎上したのもケアレスな社会の象徴的出来事でした。週3日で生きさせろとか100年ビジョンは、今でも色あせていません。健康で文化的な最低限の生活ができるケアを柱にした社会の実現を夢見て知恵を出し合って生きて行けるように。今月号のみんなの一言響きました。(み)

はたらく女性の全国ホットライン **0120-787-956**

毎月0と5のつく日 ▶ **5・10・15・20・25・30日**

平日 | 18:00~21:00 土日祝 | 14:00~17:00

会員のあなたもぜひご利用ください。毎月**5日**は**セクハラ集中相談日**

住所 | 〒110-0015 東京都台東区東上野1-20-6 丸幸ビル3階

TEL | 03-6803-0796 FAX | 03-6803-0726 e-mail | office@acw2.org

HP | <http://wwt.acw2.org> Twitter | <https://twitter.com/acw2org>

正会員年会費 | (性自認女性) 1口3,000円 オプション5,000円 または 10,000円

生活困窮者2,000円

通信/サポート会員 | (男性も歓迎) 1口3,000円(何口でも可)

郵便振込 | 00130-1-669637

銀行口座 | 三井住友銀行 渋谷支店 普通8658522



感想など
会員のおたよりを
お待ちしております

こんな記事が読みたい、誰々さんに書いて欲しい、このテーマで書いてみたいなど、思い立ったらぜひ下記メールアドレス宛にご連絡いただけるとうれしいです。
※編集メンバーも募集中。ご連絡お待ちしております →→→ tsushin@acw2.org

2023年2月発行 第57号/編集・発行 はたらく女性の全国センターACW2

ホームページ、ツイッター、会員メーリングリストで毎日情報更新中